

こんな
活動です

学校と家庭・地域との連携・協働による『小川初市』

宇城	●活動名		●関係する学校名	
	小川初市		宇城市立小川小学校	
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習	地域人材育成	郷土学習	
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会
	0人		0人	有 無
				企業・NPO等との連携
				有 無

● 活動の概要・特徴や工夫

「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を実現するために、本校では毎年3月に、生活科、総合的な学習の時間の最終発表の場として、小川町商店街の路上やステージ、古民家等を利用し、商店街の方々や地域住民、保護者と連携した活動を行っている。

学年ごとのステージ発表の他、低学年によるパレード、中学年・高学年によるバザー等で初市を盛り上げ、学校と家庭・地域が一体となった活動へと高めている。

● 活動の様子



初市を盛り上げるために演奏しながらパレードをしました！



商店街の方々といっしょにバザーを体験しました！



● 地域学校協働活動における効果・成果

小川初市での発表に向けて、子供たちは、持続可能な開発のための教育(ESD)の視点に立った計画や探求活動、発表の練習等を行い、それぞれの学年で学習の深化を図り、思考力・判断力・表現力等を高めることができた。また、当日の活動を通して、社会性や感謝の心、地域の役に立とうとする意欲等も高めることができた。

保護者や地域の方々は、子供たちを地域の「宝」として地域の後継者育成の観点から大切にされている。そのことが、登下校時のあいさつ運動や交通指導、学校行事や地域行事での積極的な交流等につながり、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を実現させている。